

## 施工前の注意点

- 汚れや異物がついたスポンジやクロスは使用しないで下さい。
- フィルム貼りや着色・コーティングなどの処理・物理的な加工を表面に施したシールドには使用できない場合があります。
- すべての液剤は、塗ったまま長時間放置しないで下さい。
- 下地処理を充分に行わずに撥水加工した場合、性能が充分に発揮されない可能性があります。

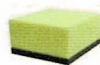
## 準備するもの



● シールドコート ZERO



● シールドクリーナー ZERO



● 研磨スポンジ



● 塗り込みスポンジ



● 拭き取り用クロス



● 仕上げ用クロス

## 施工方法

※施工するシールド表面の砂や泥等の汚れを、きれいに洗い流してから作業して下さい。  
※シールドの状況により、取り外すか適時マスキング処理を行って下さい。



### 【下処理 1】

シールドクリーナー ZERO をよく振り、中身を攪拌する。研磨スポンジ(黒い面)を軽く水で濡らし、シールドクリーナー ZERO を適量取る。



### 【下処理 2】

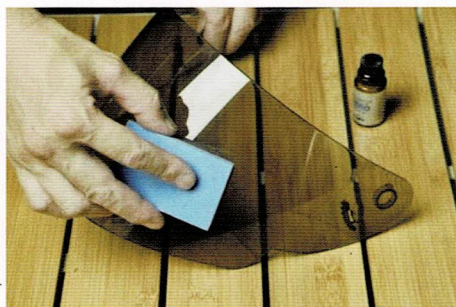
シールド全体を研磨する。液が弾かなくなり、油膜が完全に除去できているか確認しながら磨いてください。



### 【下処理 3】

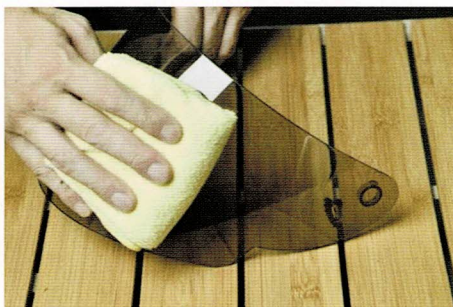
水で濡らして固く絞った拭き取り用クロスで、きれいに拭き取ります。

水で洗い流しても OK です。



### 【コーティング 1】

シールドコート ZERO をよく振って中身を攪拌し、塗り込みスポンジに液を 5~10 滴取る。縦、横、縦にまんべんなく塗り込む。



### 【コーティング 2】

全体が塗れたら時間を置かずすぐに仕上げ用クロスで乾拭きし、液の余剰分を拭き取る。

時間をあけるとムラになる可能性があります。



### 【完成】

内側から見て拭き残しがないか、視界の悪いところはないか確かめてください。

12 時間以上自然乾燥させて、完成です。



バイクのミラーや自動車のサイドミラーにも使用できます。  
撥水効果で見えやすくなります。  
※油膜除去をしてからコーティング施工してください。



スクリーン(風防)やゴーグルにも使用できます。  
※着色・物理的な加工が施してあるものには施工しないで下さい。  
ヘルメット本体に塗ると、軽い艶が出て、防汚効果も期待できます。

